

福祉文教常任委員会協議会会議録

1 開会日	平成29年5月22日 午前 9時00分 開会 午前10時10分 閉会
2 場 所	第1委員会室
3 出席委員	二宮加寿子委員長 三澤龍夫副委員長 坂田よう子委員 竹内恵美子委員 関威國委員 清田文雄委員 柴崎茂委員 吉川重雄議長
4 傍聴議員	奥津勝子議員 玉虫志保実議員 片野哲生議員 高橋英俊議員 鈴木京子議員 渡辺順子議員
5 説明員	栗原副町長 森田政策担当参事 瀬戸子育て支援課長 田中保育園・幼稚園係長 齋藤総務課長
6 職務のため 出席した職員	局長 大槻 直行 書記 波多野昭雄
7 協議等の事項	(1) 町立国府幼稚園の統廃合に伴う(仮称)大磯認定こども園の新設工事について (2) 大磯小学校灯油配管破損事故の経過報告について (3) その他
8 その他	一般傍聴 なし

(午前9時00分) 開会

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 皆さんおはようございます。定刻に御参集いただき、御苦勞様です。ただいまの委員は7名全員です。それでは、これより、福祉文教常任委員会協議会を開会いたします。

お諮りいたします。

ただいまのところ、一般傍聴の希望はありませんが、希望があった場合、これを許可したいと思います。御異議ありませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 異議ないものと認めます。

それでは初めに、町側から、挨拶をお願いいたします。

副町長、どうぞ。

○副町長【栗原匡賢君】 おはようございます。福祉文教常任委員会協議会をお開きいただきまして、ありがとうございます。議題は、国府幼稚園の統廃合等でございます。よろしくをお願いいたします。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 ありがとうございます。

直ちに、本日の会議に入ります。会議次第はお手元に配付したとおりです。本日は、議題が2件ありますので、よろしくをお願いいたします。

議題(1)「町立国府幼稚園の統廃合に伴う(仮称)大磯認定こども園の新設工事について」

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 それでは、議題の(1)「町立国府幼稚園の統廃合に伴う(仮称)大磯認定こども園の新設工事について」を議題といたします。

本議題につきましては、5月16日の全員協議会において説明を受けておりますが、担当課の子育て支援課から補足説明があればお願いいたします。

担当課、どうぞ。

○子育て支援課保育園・幼稚園係長【田中恵子君】 子育て支援課の田中です。

それでは「町立国府幼稚園の統廃合に伴う(仮称)大磯認定こども園の新設工事について」御報告いたします。お手元の資料を御確認ください。

本日御報告させていただく内容は、1ページ目の「入札経過・結果」について、及び2ページ目の「交付金・補助金」についてになります。

先般5月16日に議員全員協議会におきまして、「(仮称)大磯認定こども園の新設工事の概要等について」御報告させていただきましたが、その際、事業主であります社会福祉法人恵伸会が行った施行業者の選定、入札の結果及び町からの補助金等につきまして、資料提供を求める御意見がございました。このたび福祉文教常任委員会協議会を開催いただきましたので、議員全員協議会の追加資料ではなく、この場で御報告させていただきます。それでは1ページ目をお開きください。

件名は「(仮称)大磯認定こども園新設工事」、「施工場所は大磯町国府新宿152番地」になります。「入札方式は一般競争入札」によるもので、「入札日時は平成29年4月27日(木曜日)の午前11時」から、「入札場所は社会福祉法人 恵伸会 特別養護老人ホーム サンレジデンス湘南」において実施いたしました。「予定価格は税抜きで4億5,000万円」、「税込みで4億8,600万円」とし、「応札者は4者」でした。開札の結果、「落札者は株式会社エス・ケイ・ディ」となり、「落札価格は税抜きで4億800万円、税込みで4億4,064万円」、「落札比率は90.67%」という結果になりました。次に、2ページ目をお開きください。

(仮称)大磯認定こども園の新設工事におきまして、平成29年度当初予算として、お認めいただいた歳入・歳出の内容についてまとめたものになります。表の構成としましては、左側が歳出、右側が歳入、一番下の段に各合計金額を記載しております。

まず、左側の歳出につきましては、合計額2億6,198万3,000円とし、その内訳は「①保育所部分の整備に係る費用」、「②教育部分の整備に係る費用」、「③町立国府幼稚園の一部を解体する費用」、「④仮設職員室の設置に係る費用」となっております。

次に、右側の歳入につきましては、2種類の、国からの交付金を見込んでおり、総額は1億8,288万円となります。交付金が2つになっておりますのは、左の歳出の「①保育所部分の整備に係る費用」は厚生労働省から、「②教育部分の整備に係る費用」は文部科学省からというように分かれているためです。いずれも補助基本額に対し、4分の3を公的補助、4分の1を事業者が負担することとしておりますが、公的補助の比率は異なり、保育所等整備交付金では、国の負担割合は3分の2、町が12分の1、認定こども園施設整備交付金では、国の負担割合は2分の1、町が4分の1となっております。以上で入札結果及び補助金等の説明を終了させていただきます。

なお、本日の資料には参考資料として、3種類の資料を後ろに付けさせていただきました。5月16日の議員全員協議会におきまして、事業者の選定等に係る御質問もございました。

た。町としましては、現在に至るまでの間に、今回添付いたしました3種類の参考資料に基づきまして、公私連携幼保連携型認定こども園とはどのようなものか、また、認定こども園の設置・運営法人の公募条件、土地建物等を町が20年間無償貸与すること、選考委員会を設置して選考を行うことなどを議会へ御説明してまいりました。さらには昨年3月議会におきまして、町立国府幼稚園を平成30年3月31日に廃止する条例案も可決いただいております。そして事業者を社会福祉法人恵伸会に決定いたしました内容をお知らせいたしましたのが、昨年の6月27日の資料となります。以上のような経過を踏まえまして、参考資料につきましても詳細説明は省略させていただきます。

なお、この後、町と事業者の間では、町立国府幼稚園の一部を解体していく上でも、土地使用貸借及び建物等譲与に係る契約の締結が必要となってまいります。概要資料の配布及び説明につきましては、5月16日の議員全員協議会で御説明させていただきましたので、こちらの説明は割愛させていただきます。なお、今後の議会への説明の予定でございますが、認定こども園を平成30年4月1日に開園するには、公私連携法人として、社会福祉法人恵伸会を指定する必要があるがございます。その際は協定書を交わさなければならず、こちらは議会における議決を必要とする案件になります。その時期といたしましては、9月議会への上程を予定しております。現在内容を詰めていている段階となりますので、改めて福祉文教常任委員会協議会を開催いただくようになろうかと思っております。以上で説明を終了させていただきます。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 これより質疑に入ります。質疑のある方は、挙手を願います。

柴崎委員。

○福祉文教常任委員会委員【柴崎 茂君】 いまの2ページの、ごめんなさい。先に1ページのところからいこうか。4事業者がいたってことだけど、一般的に入札の経過を公表してっていうと、まずこういう形ではないのね。4者が全部でどうだったか、それぞれの金額とかが出てくるのが普通。それで出してもらえますか。それとも、いま言う。入札の経過は、あくまでも1者だけの話をしたって、そうじゃないでしょう。いつもはそうじゃないからね。ほかの行政の例えば入札に関する担当課が出すように、ちょっと出して。

それと、2ページ目ね。この交付金のところの、まず「①保育所緊急整備事業補助金」。ここの積算根拠の補助基準額が、1億9,194万7,000円てことかな。まず①の積算根拠。それに対して国が、3分の2の12分の1。これは2億6,000万からはかけ離れている。か

け離れているのは当たり前だよ。解体するのも国がやってくれるわけじゃないから。そうすると、この当初予算の1億4,000万の中からこの補助額は1億9,000万だっていう、この補助基本額はどうやって出したのかな。同じくその下の認定こども園部分の補助基準額、これが1億。何でこの金額になったのかを、教えてください、まず。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 いま2点。

○福祉文教常任委員会委員【柴崎 茂君】 だから最初の件はどうするかだよ。でも出してもらわないわけにはいかないよね。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 では、資料のほうはどうでしょうか。担当課。

○子育て支援課保育園・幼稚園係長【田中恵子君】 子育て支援課・田中、お答えいたします。

まず、1問目の応札業者、ほかに3者あるということなんですが、このたびの入札は町の実施ではございませんので、事業者で実施したものとなっております。ということで、町からは他の3者についての答弁は、控えさせていただきたいと思います。

続けて2問目の御質問ですが、実際の補助金の金額がかけ離れているというところなんですけれども、平成29年度当初予算額のこちらの金額を算定する段階としまして、認定こども園建設に係る総額費用は、4億5,904万3,200円という算出をいたしました。このうちなんですが、国の交付金要綱に基づきまして、一定の、例えば外構部分の工事費は見込まないですとか、そういう一定の要綱の基準がございまして、各定員に基づく単価というものもございまして、そういったところを含めまして、補助基本額というものを、2つの交付金で3億177万7,000円ということで見込んでおります。それが各保育所部分と幼稚園部分ということで、定員数を案分した中で、このような表の中の金額となっております。以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 柴崎委員。

○福祉文教常任委員会委員【柴崎 茂君】 だからまあ、これは何。恵伸会がやったから出さないって、その言い方は可能かもしれないけど、この案分した中から大磯町のお金を出すのにもかかわらず、入札が正しくなかったら、分母が変わってくるということになるんだから、それを相手に求めても、出さないというのは、普通じゃないの。どうして、それを出せないか。出せないなら出せないでもいいんだよ。出せないってことそのものがおかしいんだから、それ言わせてくれるほうが、全然こっちは楽だ。仕事としては。

それと、いまの1億9,000万と、1億円の金額ね。両方で3億ちょっととこかっていう話をされるんだけど、だけどもそれでやってくると解体工事まで含めて、トータルで、当初の予算金額2億6,000万だって言ってて、いろんな物が除いてあるからといえはそれまでだけど、だけど、それじゃあ数字が合わないじゃない。その計算の仕方じゃさ。だから、いま言われた1億9千何万というのと、1億飛んで983万というの、もう一度積算の根拠になる部分を示してもらわないと。だってこの積算の部分になるのだから、この落札金額とは大きく関係してくるわけでしょう。まず、ちょっと、もう一回そのところだけ詰めてくれる。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 担当課、どうぞ。

○子育て支援課保育園・幼稚園係長【田中恵子君】 子育て支援課・田中、お答えいたします。

繰り返しの答弁となってしまいますが、今回は町の実施の入札ではございませんので、町と同様な、他の入札応札いただいた業者名ですとか、入れていただいた札の金額、そういったものの公開を、町からはさせていただくことは控えさせていただきたいと思っております。

続きまして、交付金の補助金のこちらの算定額なんですけど、こちらはあくまでも要綱に基づいた定員の部分を算出として見込んでおりますので、平成29年度当初予算額も、平成28年度の国の要綱から算出しておりますので、また今回の当初予算に踏まえた中で、交付申請を行っていきますが、そちらは平成29年度の単価でまた申請をあげてまいりますので、またこの金額の根拠に含めまして、今後、金額的なところを精査しまして、最終的な補助金額、そしてそのうちの国の負担額、町の負担額、事業者負担額というのは変わっていかうかと思っております。あくまでも交付要綱に基づいた算定ということで、御理解いただければと思っております。以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 柴崎委員。

○福祉文教常任委員会委員【柴崎 茂君】 だけれども、それはのめないって言うてるでしょ。要するに、この決まる価格の決定で、別に民間企業が全部出しますよと。それを大磯町が借り受けるんだよと。借り受けるにあたっては、建設金額は一切関係なく、月に10万円だよとこかって言うんだったら、全然問題ないよ、出してくれなくたって。相手の先の建物だから。だけれども金額によって、町の費用負担も何分の1かって発生するんだから、入札の状況も聞くのが筋でしょうって。もし聞いても教えてくれないって言うんだったら、それはそれで教えてよ。それと、いま話聞いてると、公表できないんですって、こんなば

かな話しがあるかよ。町がいささかも、この設計金額や建設金額にかかわりなく、それこそさっき言ったように定額で借りるんですと言ってるだけだったら、こちらも、ああそうって。何の関係もないよっていう話さ。ここであまりやっても、おもしろくないからな。じゃあ、まあいいや。それは知らせることができませんで、そういうことね。

それから、次の金額だけど、これを聞いて、また29年度によって変わることになりますとかって言ったら、じゃあ29年度のその数字っていうのはいつ出るの。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 担当課、どうぞ。

○子育て支援課保育園・幼稚園係長【田中恵子君】 子育て支援課・田中、お答えいたします。

まず、今回の国庫の交付金なんですが、2つ申請をいたしていきませんが、こちらのほうの要綱が固まってまいりますのが、認定こども園のほうの整備部分なんですけれども、当初予算の考え方というところで、こちらの交付金のほうを充ててまいります、ちょっと国のほうの考え方、そういったものの変更というのが生じてくる可能性がありまして、実際のところ、平成29年度当初予算額の考え方であげてはいるんですけれども、今後、変更交付申請などを予定してまいりますので、金額的な算定というところの確定は、まだちょっと先になろうかと思えます。またその際は、改めて議会のほうにも、御報告なりをさせていただき予定になろうかと思えます。以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 柴崎委員。

○福祉文教常任委員会委員【柴崎 茂君】 それはいつ決まるのって聞いているの。確定していない数字だっていうのは、わかってる。それはいつ決まるのかって聞いているんだ。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 お願いいたします。

○子育て支援課保育園・幼稚園係長【田中恵子君】 子育て支援課・田中、お答えいたします。

おおむね秋ぐらいには交付要綱のほうが整いまして、こちらの当初申請、この辺りのほうも確定してこようかと思えます。以上です。

○福祉文教常任委員会委員【柴崎 茂君】 じゃあ、いいよ。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 ほかの委員さん。

坂田委員。

○福祉文教常任委員会委員【坂田よう子君】 1点、ちょっと確認の質問なんですけれども、先ほど9月議会に、協定締結の議案として出してきましたよというお話だったんですけれども、

全協のときには、ちょっとなんか議案というよりも、報告でこのまま行くというようなニュアンス感を感じたんですけれども、やはり金額的にも大きなものですので、議案ということには、全協のときからの9月議案ですよというつもりでのお話をしたということの解釈なのか確認をさせてください。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 担当課、どうぞ。

○子育て支援課保育園・幼稚園係長【田中恵子君】 子育て支援課・田中、お答えいたします。

議員全員協議会の際に、報告とお話しさせていただいたのは、町と事業者の契約ということになるかと思えます。そちらにつきましては、報告という形になるんですが、今後、認定こども園の開園に向かいますとは、相手先、事業主を指定しなければいけないので、そちらは議案の案件ということで、9月議会のほうに上程させていただきます。以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 坂田委員。

○福祉文教常任委員会委員【坂田よう子君】 町と事業者が、既に協定と言いますか、協定というものを先に結んだ後に、議会が、町と事業者が結んだものに対して、今度は開園していいですよという議案というのは、何か議会はそれを、まあ私が別に否決しようと思っているわけではございませんけれども、現時点で。でもちょっと流れとして、どうなんでしょうね。やはりその時点で、しっかりとスケジュールというか、今後の予定については説明していただかないと、議会というものの意義がわからなくなってしまうのではないかと、私は聞いていて思うんですけども、いかがでしょうか。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 担当課、どうぞ。

○子育て支援課長【瀬戸克彦君】 子育て支援課・瀬戸です。

御説明の仕方が、町のほうは悪かったということで、その点については申しわけございません。ただ私どものほうとしましては、まず工事にあたりまして、すいません。昨年、先に幼稚園の廃園を認めていただくところで、基本的には認定こども園の誘致についても、同様の考え方を御説明してる中で、事業を進めていくことについては、御了承をいただいているものというふうに認識しております。その中で、まず議案にならない工事を先行して進めていく上で、必要な土地と建物についての契約をさせていただくということで、先日、御報告を全協でさせていただいたところです。この後、協定のほうにつきましては、実際の認定こども園の運営等について、細かいところについて、今度、事業者さんとまた詰めていきます。その内容を基に、県のほうに公私連携法人ということで指定をしていきます

ので、その手続として、この後、議案を上程していくような形になっております。現在、協定書のほうについて、県のほうに確認等をとっている中で、時期的には年内に認定こども園の届け出をしていただければ、県としては手続的に年度内に処理できるということで話をいただいておりますので、それに沿って進めていくような形で、現在のところ事務のほうを進めている状況になります。以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 坂田委員。

○福祉文教常任委員会委員【坂田よう子君】 ちょっと私がかうがった見方をしているのかもしれないんですけども、どうも議案にならないことを、どんどん進める、庁内で進める。もちろん執行に対しては、町が責任を持って執行するべきですから、そのところはわかるんですけども、何かどんどん、どんどん外堀を固めて、最終的にもうここまで固まっているから、じゃあ協定については、最後、秋以降、9月以降に、もうここまできて、ここまで上手く全ていって、あとはもうこの議会の協定を締結を認めていただくだけですよという状態にきて、議案という形になるのかなっていうのは、ちょっとどうなのかなと、私は率直に感じます。ただそれは私の感性、感覚であって、いままでの小磯幼稚園やまた、ほかにもこういった形で統廃合に伴う大磯町で行われた件と照り合わせて、そのラインは、やり方は、このスケジュールは、正しいということによろしいのでしょうか。確認になりますけれど。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 担当課、どうぞ。

○子育て支援課長【瀬戸克彦君】 子育て支援課・瀬戸です。

時期的なものにつきましては、必要に応じて議会のほうに御説明、また議案として上程という形で、現在進めているところです。過去2件の民営化と同様の形で、今回も事業のほうを進めさせていただいているところです。以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 よろしいですか。ほかの委員さん。

関委員。

○福祉文教常任委員会委員【関 威國君】 関です。

この整備費用の4億8,600万円というのは、恵伸会が払うお金というと、1億4,600万、負担金、そういうことですかね。恵伸会が負担するお金、1億4,600万円ということですか。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 担当課、どうぞ。

○子育て支援課長【瀬戸克彦君】 子育て支援課・瀬戸です。

事業主さんのほうは4億5,000万に対しまして、そのうちの4分の1という形になりますので、7,544万5,000円プラス仮設の職員室の分の411万5,000円という形になります。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 どうぞ。

○子育て支援課長【瀬戸克彦君】 子育て支援課・瀬戸です。

あくまでも補助の金額につきましては、全体工事費が、ごめんなさい、4億5,000万というところですので、実質のところでは、2億2,633万2,000円がこちらが工事費の事業者の負担になります。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 では参事のほうに代わりますか。どうぞ。

○参事（政策担当）【森田敏幾君】 参事（政策担当）・森田、お答えいたします。

工事費の総額は、いま担当からお話させていただいていましたように、4億5,904万3,200円です。ただ、工事費総額に対して、補助対象基本額、こちらにつきましては、3億177万7,000円。そのうちに国からの補助金1億8,288万円がございます。町も負担するお金がございますので、町が単費として負担するお金が4,345万2,000円。補助対象基本額から、国・町の負担額を引きまして、事業者負担額には7,544万5,000円となります。またそれ以外に、建物解体費が411万5,000円かかります。そのうちの半分、2分の1が事業者負担になりますので、7,544万5,000円プラス823万円。すみません、いま電卓を持ってないので、おおむね5,000万円強が、ごめんなさい、7,544万5,000円プラス823万円なので、おおむね8,300万円程度が、事業者の負担ということになってございます。

（柴崎 茂君「冗談言うなよ、どこにその数字が出ているんだよ。」

なんでこんな数字、こんなに出してきたんだよ」と呼ぶ)

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 ちょっと待ってください。参事。

（柴崎 茂君「どうやって計算したら、その数字になるんだよ」と呼ぶ)

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 関さんどうですか。

（柴崎 茂君「だましもいいとこだよ。当たり前だと

思ってるんじゃないかよ」と呼ぶ)

○福祉文教常任委員会委員【関 威國君】 町としては、やっぱり補助金は、町から出すお金はできるだけ少なくして建てるっていうのが理想だと思うんですが、そこで私は聞いたんですが、これ、あおぼとどきに、認定こども園ね。あのときに比べると、なんか町の補助金が。まあ解体費とか、そういうのがあると思うんですが、ちょっとその辺で、町の負担が、結構、あおぼと認定こども園に比べると多いなって、ちょっと感じがしました

んで質問したんですが、事業者の支払い金額が、あまりにも少ないんじゃないかなって感じ受けたんで質問しました。そうすると8,400万、事業者の負担は。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 参事。

○参事（政策担当）【森田敏幾君】 参事（政策担当）森田、お答えいたします。

認定こども園あおばとにつきましては、木造二階建てで、なおかつ更地に対して建設をするということになります。今回、国府の認定こども園については、町の建物について、一部壊しながら、新たな私立の認定こども園を誘致するということになりますので、その町の施設の解体分というものが、プラス多く生じてきてしまっているというような状況になってございます。また、補助金につきましては、担当から説明させていただきましたように、保育所部分と幼稚園部分について、補助金のメニューが違いますので、それぞれ補助率が違ってきます。2ページ目の①、②の補助基本額1億9,194万7,000円と、②の1億983万円を足していただきますと、補助対象基本額3億177万7,000円になります。そのうちの国の補助金が1億828万8,000円ということになりますので、実質事業者の負担については、整備費につきましては、7,544万5,000円プラスの④仮設園舎設置費分ということで、補助基本額823万572円のうちの2分の1を町が負担するというので、この2ページの補助金・交付金については、29年度予算額としてお示しさせていただいてございます。なお、こちらの事業費の説明につきましては、先般29年度の予算特別委員会でも、委員から同様のご質問を受けておりますので、いまお答えした内容の旨を、お答えさせていただいているというような次第でございます。以上です。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 関委員。

○福祉文教常任委員会委員【関 威國君】 はい、わかりました。

（柴崎 茂君「せっかく委員会まで開いてやっているのに。何を隠す必要があるんだよ。業者の負担なんかすぐにわかるように出してくるべきじゃんか、そんなもん」と呼ぶ）

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 坂田委員。

○福祉文教常任委員会委員【坂田よう子君】 いまの口頭で関議員の質問のときに数字が出ましたけれども、参事のほうも、いま計算がすぐにきちんと数字ではないという答えもありました。やはりそういう状況の中で、たしかに3月議会で予算審議はしましたけれども、いまこういう形の中で、最終的に締結のところでは議案になりますけれども、いまの中ではやはり信頼関係の中でやっていかなきゃならない中で、きょうの今の数字っていう

のは、しっかりと紙ベースで提出をしてもらいたいと思いますので、そのように委員長、お諮りいただけますでしょうか。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 担当課のほうで用意はできますか。どうぞ。

参事。

○参事（政策担当）【森田敏幾君】 参事（政策担当）森田、お答えいたします。

29年度町の当初予算ということで、事業者の金額というのは、当然、町の予算には、予算書に出てきませんので、こういうような示し方をさせていただいたというような状況です。ただ、いま言いましたように、御質問、御指摘いただきましたように、町の単費の部分と補助金でいただく部分と、事業費の総額に対して、事業者が負担する分というのがこの表だけを見ると、一目でわからないようなところがございますので、それについては、お示しさせていただきたいと思いますので、よろしくお願いたします。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 じゃあ用意していただくということで。

（柴崎 茂君「森友学園と全く一緒じゃねえかよ、一般質問で、それやられるんだぞ」と呼ぶ）

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 紙ベースできちっと出していただくということになりましたので、それで御承知いただきたいと思います。よろしいですか。

○福祉文教常任委員会委員【坂田よう子君】 はい。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 ほかの委員さん。

○福祉文教常任委員会委員【柴崎 茂君】 隠していることがないと思うから、この数字を想像して言ってるのに。掘れば掘っただけ、なんか出てくるっていう話じゃないかよ。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 そこまではちょっと待ってください。

次に、ほかの委員さん。いかがですか。柴崎委員は、もうよろしいですか。

○福祉文教常任委員会委員【柴崎 茂君】 いいよ。しゃべっていない人がいるから。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 よろしいですか。

では次に議題（2）「大磯小学校灯油配管破損事故の経過報告について」を議題といたします。

（吉川重雄君「1番のやつを、ここでしっかり閉めろよ」と呼ぶ）

○福祉文教常任委員会委員【坂田よう子君】 委員長。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 坂田委員。

○福祉文教常任委員会委員【坂田よう子君】　いま1番の議案が、委員長の発言によって終了をするところですが、いま紙ベースでしっかりと数字を出していただくことにお約束いただきました。その後、それが精査して出てきた時点、協定まで行く前に、しっかり、私は、そういったことの疑念を晴らして、協定の時点では、協定ということの意義のところの議案でなければいけないので、そこまでにおいて、ちょっと時期は委員長にお任せいたしますけれども、しっかりとした段取りを今後とっていただいて、その上で9月議案のほうに向かって、信頼関係を持って、議会と協議ができるような体制をとっていただきたいと思います。間に、協議会等が必要であれば、そのようにしていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】　では、一度、段取りを踏んでいただくということでお願いいたします。

では参事。

○参事（政策担当）【森田敏幾君】　参事（政策担当）森田、お答えいたします。

公私連携幼保連携型認定こども園については、認定こども園法第34条に位置づけられた認定こども園となっております。いま担当のほうから、公私連携法人としての、町としての協定を締結しなければいけないというような段取りも御説明させていただきました。今後、当協議会、委員会・協議会のほうにも、きちんとその旨の御報告等をさせていただいた上で、議案上程のほうに向けて、進めてまいりたいと思いますので、よろしくお願いします。

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】　よろしいですか。これで質疑を終了いたします。すみません。進行上、失礼いたしました。

議題（2）「大磯小学校灯油配管破損事故の経過報告について」

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】　次に、議題（2）「大磯小学校灯油配管破損事故の経過報告について」、議題といたします。

お諮りいたします。

休憩して現地視察をしたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】　それでは、異議ないものと認め、暫時休憩といたします。

(午前 9時35分) 休憩

(午前10時 8分) 再開

○福祉文教常任委員会委員長【二宮加寿子君】 それでは休憩を閉じて再開します。

特になければ、これをもちまして、閉会いたします。

(午前10時10分) 閉会
